

番 号	13 請願第 2 号 （即 決）
受理年月日	平成 1 3 年 2 月 2 8 日
件 名	N T T 営業所窓口を存続させるよう意見書の提出を求めることについて
提 出 者	通信産業労働組合多摩分会 分会長 原 崇
紹 介 議 員	岩田 康男
要 旨	
〔請願趣旨〕 地域住民、利用者の方のサービス維持のため、関係機関へ、「N T T 営業所窓口廃止計画」を撤回し、存続させるよう意見書の提出をしてくださるよう請願します。 〔請願理由〕 N T T は、平成 11 年 7 月に持株会社に移行し、長距離通話をあつかう「N T T コミュニケーションズ」と「N T T 東日本・西日本地域会社」に三分割され、「経営の効率化」「営業力強化」の名のもとに、「N T T 営業所窓口の統廃合」、2 万 1,000 人のリストラ、「希望退職」の募集を進めています。 それにともない利用者の最前線となっている「営業所窓口廃止」施策をうちだし、現在全国で 643 カ所ある窓口を 200 カ所程度に激減させようとしています。この影響は東京・三多摩地域にもおよび三多摩管内（島しょ部を含む）にある 22 カ所の営業所窓口のうち、19 カ所を廃止してたった 3 カ所だけにする計画です。残るのは武蔵野、立川、相模原で三多摩一の大都市である八王子にすら残さない方針です。 もしこんなことが実施されたら、利用者・市民に多大な迷惑をかけることとなります。電話でだいぶ用件が足せるようになって来ているとは言え、まだまだ窓口に出かけなければならないことはいっぱいあります。 たとえば 名義の書き換え、 番号変更、 通話明細の照会・閲覧、 支払期限を過ぎた料金の支払いや請求書を紛失してしまった支払い、 故障した電話機等の取り次ぎ、 不良テレホンカードの取り替え、 電話や I N S、インターネットに関する相談などなど...いくらでもあります。 いまでも三多摩管内の N T T 営業所窓口への来客数は 1 カ月に 1 万 5,000 人から 2	

万人におよんでおり、料金支払者もふくめると数万人が訪れています。こうした利用者は、身近なN T T 営業所窓口をなくし、はるか遠くへ出向かなければならなくなります。高齢社会となった今日、おとしよりの方が窓口に来ることが多くなりますが、大変な難儀を強いることになります。交通費がかさむし、車で行っても途中交通渋滞で時間がかかるうえ混雑で待たされることは必至、半日かかり一日かかりということになります。利用者サービス低下になることはあきらかです。

N T T は日本一の大企業で、政府からも景気回復の切り札として期待される成長産業であります。関連会社のドコモとならんで大もうけしており、平成 11 年度はN T T グループ全体で 8,000 億円を超える莫大な利益を上げました。「リストラ」で人べらしをしたり、営業所窓口を廃止したりする理由はありません。

N T T は、国民生活と密接に結びついている企業であり、利用者・国民サービスを重視する企業精神にもっと徹すべきです。公共性を大切にし、企業としての社会的責任を果たすための努力がもとめられます。

以上の趣旨をご理解いただき、関係機関へ、「N T T 営業所窓口廃止計画」を撤回し、存続させるよう意見書の提出をしてくださるようお願いします。